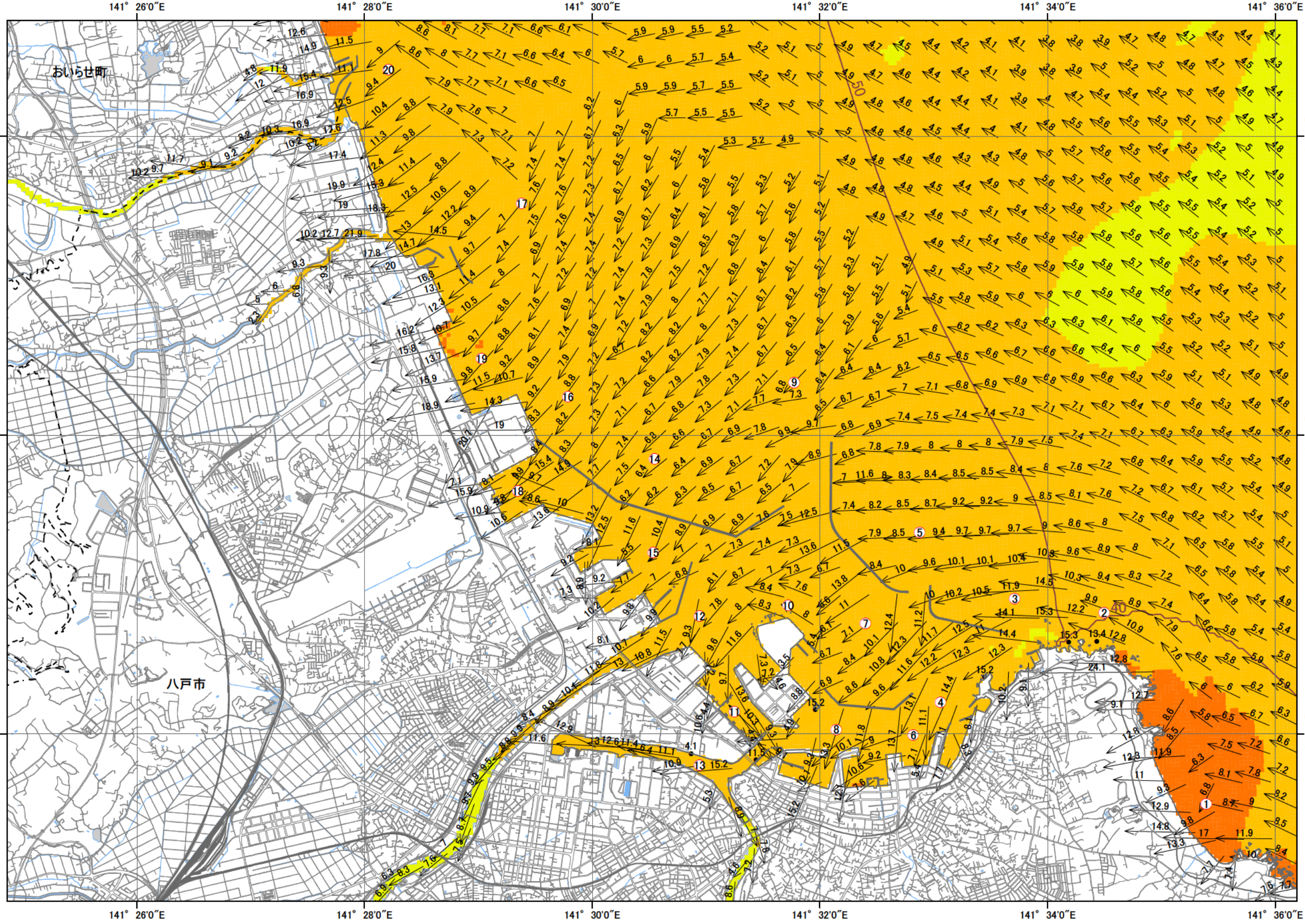


(東北地方太平洋沖地震)

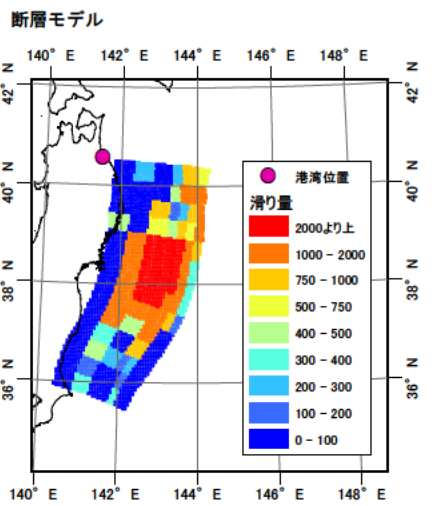
八戸港 津波防災情報図 (進入図)

計算条件: 最高水面(零位)
隆起量: 平均 -0.11m(-0.13 ~ -0.09m)
Zo: 0.85m
備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

座標系: メルカトル図法
測地系: 世界測地系 (WGS84)

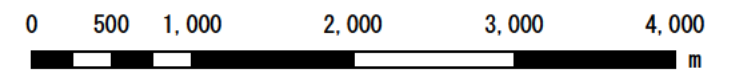


- 凡例**
- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
 - 最大水位上昇**
 - 10~最大16.4m
 - 5~10m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 経時変化図出力点
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)
 - 進入時最大流 [knot]**
 - 12 knot
 - 8 knot
 - 4 knot
 - 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点をもとに算出している。
 - 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
 - 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。



東北地方太平洋沖地震
モーメントマグニチュード Mw 9.0

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び基礎地図情報(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平31情使、第30号 平成31年4月5日)



本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会」(平成24年3月1日)により公表されたものである。
作成機関: 海上保安庁
防災情報図作成年月: 令和元年7月(初版)
地形データ作成年月: 平成31年3月(初版)